バンデュッセン植物公園の管理運営システムの 分析と評価

Analysis and Evaluation on the Park Management System of the VanDusen Botanical Garden

金子忠一*

Tadakazu KANEKO

摘要：わが国の都市公園行政においては高度化かつ多様化した公園への期待に対応する総合的かつ効果的な公園管理システムの構築が必要になっている。カナダ・バンクーバー市のバンデュッセン植物公園は、自治体の Board of Parks and Recreation と市民で組織される Vancouver Botanical Gardens Association の協働により効果的な管理運営をおこなっている。本研究では、それらを市民と行政の協働による公園管理体制、公園利用プログラム、公園ボランティア活動、パートナーシップとしての市民の役割、以上4つの観点から分析・評価し、今後の公園管理運営システムを検討するためのいくつかの知見を明らかにした。

緒言

余暇時間の増大やライフスタイルの変容により、わが国におけるレクリエーション需要は変化し、公園への期待も多様化してきた。都市公園行政における中心課題も公園地の拡大から、公園施設の拡充、そして公園利用プログラムの充実へと移行し、公園整備課題から公園管理課題へと変わってきた。また、市民参加やボランティア活動の一般化など社会的認識も変化し、都市公園をはじめ公共施設に対する市民意識も変容してきた。このように多様化かつ高度化した公園への期待に対応すべく、都市公園には物的にも質的にもより高い水準の管理が求められており、それを実行するための公園管理運営システムの確立が、都市公園行政の大きな課題の一つになっている。

1. 研究の目的と課題

平成7年の都市計画中央審議会の「今後の都市公園等の整備と管理はいかにあるべきか」についての答申において、都市公園等の管理・運営の具体的施策の一つとして、公園利用の活性化、公園の内容に応じた管理運営体制、市民の人材活用、市民や企業等とのパートナーシップ体制などを掲げ、多様なニーズに対応した総合的かつ効率的な管理運営システムの構築の必要性を述べている¹⁾。多様な目的をもつ都市公園の中で運動公園、植物公園、動物公園をはじめ特殊な公園管理や収益事業が求められる公園を中心に管理業務を協会や財団などの外郭団体に委託し、効率的な管理体制を図っている公園も多い。しかし、その大部分は、こうした課題を十分に解決するには至っていないのが実状である²⁾。こうした現状に直面している中で、カナダのバンクーバー市のバンデュッセン植物公園は、行政と市民が一体となって公園管理業務をおこない、市民とのパートナーシップによる管理体制を基盤とし、かつ植物公園という公園のもつテーマ性、資源性を十分に活かした公園管理が良好に行われている先進事例の一つである。本研究は、このバンデュッセン植物公園を対象に公園管理システムを詳細に分析・評価し、その特性を明らかにすることにより、わが国における新たな公園管理運営システムの構築のための道標を探るものである。具体には、植物公園における①市民と行政の協働による公園管理体制、②公園利用プログラム、③ボランティア活動、④公園管理のパートナーシップとしての市民の役割、以上4つの観点から究明する。

2. 研究対象の概要

バンデュッセン植物公園は、1975年に開園した世界有数の植物園の一つで、植物の収集と保護、植物や園芸に関わる研究や教育などを目的とした面積22.46ヘクタール(55エーカー)の公園である。バンクーバー市の中央に位置するこの公園は、Canadian Pacific Railway(カナダ鉄道)の所有していたプライベート・ゴルフコースを買収し、植物園として再整備した公園で、バラ園、コニファー園、迷路園、ロックガーデンなど26セクションからなる植物展示のほか、温室、室内展示館、学習センター、売店、レストランなどの施設が整備されている。年間を通して、多様なプログラムやイベントが開催され、年間約17万人が利用している。

3. バンデュッセン植物公園の管理運営体制

バンデュッセン植物公園は、組織的にはバンクーバー市の Board of Parks and Recreation(公園レクリエーション局)の管轄下であり、管理運営部門の一つとして動物園などと並列に位置づけられている。日常的な管理運営は、Board of Parks and Recreation と Vancouver Botanical Gardens Association(バンデュッセン植物公園友の会)³⁾の2つの組織の協働による管理運営システムを構築している。それぞれの業務は明確に分担され、前者は維持管理、後者は運営管理の業務を担っている。

Board of Parks and Recreation は、植物園長を長として18名の専任職員が、園内の植物展示の整備ならびに管理、植物の栽培、植物の収集等の業務を行っている。

他方、Vancouver Botanical Gardens Association(以下、V.B.G.A.と略す)は、バンデュッセン植物公園に関心のある市民が構成する会員制組織の非営利団体で、植物公園の維持と育成ならびにコミュニティ活動の一環として、植物園でのプログラムの企画運営や管理費の資金づくりなどの活動をしている。つまり、バンクーバー市公園レクリエーション局に責務のある植物公園の管理運営において、その一部を担う大きな役割をもっている。財政面については、私的な寄付金の受入機関である Vancouver Foundation(バンクーバー財団)から援助を受けている。また、植物公園の整備・管理方針や財政に関わる諮問機関として Joint Advisory Council が組織され、これは2つの組織の退職者と現職者の代表で構成されている。

*東京農業大学農学部造園学科

図-1 バンデュッセン植物公園の管理運営体制

なお、V.B.G.A.は、1993年にはバンクーバー市ボランティア協会の50周年記念ボランティア特別賞を受賞しており、ボランティア活動の推進組織としても評価されている。

これらの管理組織体制を整理すると図-1のようになる。

4. Vancouver Botanical Gardens Association の創設と役割

V.B.G.A.の発足は、1960年代に遡る。1960～70年代のバンクーバー市公園レクリエーション局は公園整備拡大期にあり、州政府がリージョナル・パークシステムの整備を検討し始めた時期でもある。多くの公園地の取得を主要施策にかかげており、この約20年間に市内の主な公園は全て整備された⁴⁾。1960年の市議会でCanadian Pacific Railwayからの土地の取得が決議され、その土地を植物公園として整備することが決定された。しかし、土地取得が難航していたため、1966年、植物公園整備に関心をもち市民がVancouver Botanical Societyを組織し、3つのレベルの政府すなわち連邦政府（国）、州政府、そしてバンクーバー市に早期の土地買収を働きかけた。さらに市民はVancouver Botanical Gardens Associationの組織化を決定し、賛同した89名によりV.B.G.A.が発足され、第1回の総会で会長や事務官を選出し、会費を仮設定して会の運営が始まった。

1967年には、公園レクリエーション局副取締役官、大学教授、造園家などで構成する植物公園の整備計画委員会を設置し、市当局の作成したマスタープランを検討し、それらをふまえて1971年から整備が開始された。また同年にはV.B.G.A.の基本理念と方針が発表され、翌72年からは会報の発行も始まった。そして1973年のV.B.G.A.総会において、将来の運営基金の財源につ

いての指摘を受けたのが機運となり植物公園の財政問題解決のための検討がされ、教育プログラム等の実施が提案された。

こうしたV.B.G.A.の活動を背景に1975年8月30日に植物公園は開園することになり、開園後は植物公園の管理組織の一部に位置づけられ今日に至っている。

5. Vancouver Botanical Gardens Association の現状

1995年現在、V.B.G.A.の会員数は7,000名を越えており、1966年に市民89名で会を発足してから30年間で著しく拡大している。V.B.G.A.会員制度は、個人会員、家族会員、会報講読のみの賛助会員からなり、会員登録し会費を納入して会員資格を得ることになる。個人会員の年会費の金額は、1996年現在16.05CAN\$で、これは入園料5.00CAN\$と比較しても高額ではない。会員は、植物公園の入園料免除、会報（季刊）によるインフォメーション、教育プログラム・講習会・研修ツアーへの参加資格と費用割引、売店割引などの特典がある。

V.B.G.A.の活動や組織体制は、毎年開催される年次総会において決定される。組織構成は、会員から選出された18名のGovernor（理事）からなる理事会のもと、公園管理の実務はCoordinator（専任）が責任者となり、実際の企画運営は会員のボランティアによりCommittee（委員会）を構成し実行している。委員会の構成とその業務内容は、表-1のように整理される。ボランティア活動の支援、会員の募集、イベントの企画運営、利用者の需要把握、植物関連の図書や資料の収蔵ならびに利用サービス、会員や一般市民のための教育啓蒙プログラムの企画、会報や年次報告の発行、広報活動、研修ツアー、財務管理、プラントセール（即売会）など、公園管理の運営に関する業務やV.B.G.A.の運営に関する業務などを実行するための委員会を組織し、それらの主導により会員がボランティアとして実務を行っている。

植物公園におけるボランティア活動は、V.B.G.A.会員によって、土曜日・日曜日・休日を中心におこなわれ、1994年の年間延べ活動時間は58,675時間に及んでいる。V.B.G.A.が「時間当たりの賃金による労働力として算定すると約760,000CAN\$になる」と評しているように¹⁰⁾、これは年間管理費の三分の1ほどに相当し、金銭的支援でなく実務的な支援として公園管理において貴重な位置づけの活動となっている。ボランティアとしての活動は広範な機会があり、表-2に示すような13種に整理され、GuideやMaster Gardenersなど講習等を受けた後に専門知識を活かす内容もあるが、その多くは植物公園維持のための簡易な作業、資料整理、イベント運営など誰にでも容易にできる内容である。

また、V.B.G.A.の会員募集リーフレットには、「V.B.G.A.の会員は、入園及び教育啓蒙プログラムへの参加とともに、ボランティアとして植物公園業務に携わる特別の機会が与えられる。…」と記され、植物公園でのボランティア活動の社会的評価性が高いことが読みとれる。

表-1 V.B.G.A.のCommittee（委員会）の構成と役割

Volunteer Committee	植物公園でのボランティア活動内容、活動記録、ボランティアの募集など
Membership Committee	会員の登録・更新、募集
Marketing Committee	教育啓蒙プログラム・イベントの企画、利用者把握、スポンサー（出資団体等）への広報
Library	図書・資料の整理、保管、サービス
Educational Program	教育プログラム、インタープリテーション、解説サイン整備
Travel Program	研修ツアーの企画運営
Bulletin	会報（季刊）、年次報告の発行
Fundraising Committee	財務に関わる事項
Plants Sale	プラントセール（イベントの一つ）に関する事項

表-2 バンデュッセン植物公園におけるボランティア活動

① Library :	インデックス、ラベル貼り、ファイル・写真・種子カタログの整理
② Labeling :	植物の解説標識の作成、設置
③ Plants - to - See Display :	植物展示の整備
④ Gift Shop :	売店販売、展示
⑤ Seed Collectors :	植物の種子採取・収集
⑥ Guide :	一般利用者ための園内案内
⑦ Master Gardeners :	教育啓蒙プログラムでの指導、植物管理、園芸電話相談
⑧ Bulletin :	会報の企画・編集、写真撮影
⑨ Plant Sale :	販売植物の収集、ポットづくり、案内サイン作成、販売
⑩ Membership	会員相談、会員登録・更新、会員活動記録
⑪ Floral Arranging	特別展示などの装飾
⑫ Special Events	特別イベントの企画運営
⑬ Slide Sorting and Cataloging	保有スライドの分類整理

6. 植物公園の管理費と財源

バンデュッセン植物公園の年間管理費は、1994年の実績では2,057,000CAN\$（約1億6456万円）¹⁶⁾で、面積当たりの費用に換算すると、9.16CAN\$/m²（約730円/m²）である。バンクーバー市の公園整備水準は、一人当たりの公園面積に換算すると11.1m²/人であるが、公園レクリエーション局の管理する他の公園の管理費実績から換算される面積当たりの管理費0.84CAN\$/m²（約67円/m²）と比較すると、10倍以上に相当し、植物公園管理の特殊性が明確に現れている。

図-2 管理費財源の構成比 (1994)

図-3 V.B.G.A.の管理費構成比 (1993)

図-4 V.B.G.A.の財源構成比 (1993)

管理費財源は、①市当局支出、②V.B.G.A.支出、③入園料・プログラム等参加費・レストラン賃借料・施設使用料などによる収益金の充当の3種類からなり、その構成比は図-2であり、40%、25%、35%の割合である。

次にV.B.G.A.の管理費内訳を1993年の実績からみると、広報及びマーケティング費、教育プログラム関連費、一般管理費、図書・資料関連費、会報発行費、基金納付金、委員会費、特別プロジェクト費などで構成され、その構成比は図-3のようになる。また、これらの財源は、会員会費、財団基金、寄付金、利息、プラントセールによる収益金、州政府交付金、その他の援助金であり、その構成比は図-4のようになる。

7. 植物公園における利用プログラムの現状

バンデュッセン植物公園では、市民サービスならびに管理費財源を目論んで、多様な利用プログラムを企画・運営している。それらは、一般プログラムと教育啓蒙プログラムの2つに大別することができる。

一般プログラムは、年間を通して広く一般を対象に実施しているもので、日常的なサービス・プログラムから、年間に数回程度のイベント・プログラムまで、方法も内容も多様に富んでいる。日常的なプログラムとしてはセルフガイド(Self-Guided Tour)がある。これは、利用者自身がリーフレットに示された順路に従い園路を歩き、解説を読んで観賞するツアープログラムである。毎月異なったトピックをテーマとして作成され、20カ所ほどのポイントを設けて解説がなされ、1時間～1時間30分ほどで回遊できるコース設定がされている。このリーフレットは、入口で無料で入手できるシステムで一般向けと子供向けの2種類がある。また、ボランティアによるガイドツアー(Guide Tour)、園芸電話相談(Plant Information Line)は、曜日と時間が設定され、週3日間ほど実施される。

このほか、年間を通して月に1回程度の頻度で、種子、球根、バラ、ドライフラワーなど植物や園芸をテーマとした講習会、イベント、ワークショップ、研修ツアーなどが開催され、参加費等によって収益を得ている。その中で植物公園を代表するプログラムであり、市民にも親しまれているのが、Plant Sale、VanDusen Garden Show、Festival of Lightsの3つのイベントプログラムで毎年実施されている。Plant Saleは、1975年開園時から管理費財源を目論んで実施されたプログラムで植物販売等により大きな収益となっている。また、VanDusen Garden ShowとFestival of Lightsでは特別入園料制をとっており、イベント時の入園者数は、1995年の実績ではそれぞれ約19,000人(3日間)、約29,000人(25日間)となっている。他方、教育啓蒙プログラムとしては、植物公園のもつ物的資源や知的資源を活かして次の6つのプログラムを講習やワークショップによって実行している。

①春季と秋季に開催されるガーデンコース(Garden Course)。

これは植物や園芸に関する知識や技能を取得するためのプログラムで、Gardening、Botanical Art & Craft、Designなどをテーマに外部講師約30名を招いて年間40コースほど開設され、参加費用は10～130CAN\$ (1,000～10,000円程度)である。②バンデュッセン植物公園の園芸電話相談(Plant Information Line)をはじめとした園芸相談や、植物管理の資格を認定するためのマスターガーデナー(Master gardener)養成プログラム。これは、1985年から始められたプログラムで、50時間の総合的な講習を受講後、園芸相談(Plant Information Line)で50時間の実践、さらに翌年度20時間の実践をすることによって資格が得られ、その後は年間20時間のボランティア活動が続けることにより、資格が更新できる。③小学生を対象としたSchool Programs。州政府の教育局から5,000CAN\$ /年が特別補助されて企画実行しており年間3,000名以上が参加している。④市内22地区からなる地域地区のコミュニティ・センターにおいて実施するCommunity Centre Program。⑤現状では病院での予備的プログラムとなっている園芸療法に関わるHorticulture Therapy (園芸セラピー)、そして⑥教育局が主導的役割を担っている植物公園の解説や解説サインの整備に関わるGarden Interpretationである。

8. バンデュッセン植物公園の管理運営システムの特性

(1) 植物公園の管理運営システム

バンデュッセン植物公園の日常的な管理運営は、Board of Parks and Recreation (バンクーバー市公園レクリエーション局)の管理運営部門とVancouver Botanical Gardens Association (バンデュッセン植物公園友の会)の2つの組織が、それぞれの責務を明確に分担して協働による管理システムを構築している。前者は、植物公園としての物的な資源の維持管理ならびに植物展示や植物収集・研究という植物園としての役割を果たしている。これに対し、市民による会員制組織であるVancouver Botanical Gardens Associationは、利用やサービスに関わる業務を担い、利用者である市民が主体となって多様なプログラムを企画運営している。また、公園管理費の財源確保のため、利用者サービスの向上によって入園者数の拡大を図るとともに、教育プログラムやイベントプログラムを企画することにより参加費や収益金による増収を計画的に実施している。

(2) Vancouver Botanical Gardens Associationのシステム

植物公園あるいは植物や園芸に関心をもつ市民によって構成されるVancouver Botanical Gardens Associationは、公園の用地取得段階から、計画・設計、公園整備、管理運営まで一貫して植物公園に関わっており、その役割は大きな比重を占めている。行政主導ではなく市民が主体となって発足した会であり、市民が公園管理に参加できる場をつくっている。会員は全てボランティアであり、それらの活動内容は、利用者及び会員の増員、イベントの企画運営、植物関連資料の収蔵、会員及び一般市民向けの教

育啓蒙プログラムの実施、会報や年次報告の発行、研修ツアー、財務管理などと幅広く、公園管理の運営に関する業務と Vancouver Botanical Gardens Association の運営に関する業務を委員会を組織し、会員の総意により実行している。すなわち、植物や園芸の知識など専門性をいかしたボランティア活動、社会参加としてのボランティア活動の場となっている。

(3) 植物公園における利用プログラム

市民あるいは利用者へのサービス、公園の効果的な利用を目的として植物公園のもつ物的資源や知的資源をいかした数多くのプログラムが実行されている。具体には、日常的な利用ガイド・サービスや、市民にとって風物的なイベントなど一般向けの幅広いプログラムや、マスターガーデナー養成、小学生教育、園芸セラピーなどの教育啓蒙プログラムを実行しており、教育部局など他機関との協働による企画運営もある。

9. 考察

植物公園のもつ空間性、資源性、社会性をいかした効果的な管理運営をおこなっているバンデュッセン植物公園の管理運営システムを分析した結果、わが国における新たな公園管理運営システムの構築を検討する上で次のような知見が明らかになった。

1) 公園管理の実務を行政と市民の会員制組織を基盤とした団体が分担し、それぞれの責務を明確にしている。すなわち、行政主導で公園の植物や施設など物的資源を管理し、市民主導で運営、利用プログラムを管理することにより効果的な管理運営がなされている。これは、市民の責務が植物公園管理の中で明確に位置づ

けられ、市民の公園管理への参加性、自主性を導きだし、市民が積極的に取り組める市民主導の公園管理を可能にしており、こうしたシステムを構築することによって、これまでの行政主導による市民参加の公園管理ではなく、市民とのパートナーシップ体制が十分機能すると考えられる。

2) 市民の会員制組織が公園管理の一部を担う組織として成功した背景には、整備段階から継続して管理運営まで参画していることも一つの要因であるが、従来の行政主導による支援的な性格をもつ組織ではなく、市民の自発的な総意によって形成された組織であること、会員制度によって市民の自主性と選択性が保持されていること、管理業務において行政と市民が対等に位置づけられていることが大きな要因になっていると考えられる。また、社会的にも意義をもつボランティア活動の場として植物公園が有機的に位置づけられ、テーマ性をもった公園ボランティアの活動も市民に高く評価されていると考えられる。

3) 植物公園のもつ資源性、すなわち物的資源や知的資源を活用した教育啓蒙や人材養成などの教育プログラムの実施が、市民に対する植物や園芸に関わる教育啓蒙サービスとなり、レクリエーション需要の一つに込んでいる。その中には趣味や教養のための講習会ではない市民アドバイザーの人材を養成するプログラムが用意され、そうした準専門家によってより細かな市民への支援が可能になり、サービスの向上につながっていると考えられる。またこれらのプログラムによる収益は、管理費の大きな財源となり、公園運営においても大きな意味をもっている。

補注・文献

1) 建設省都市局公園緑地課(1995): 都市計画中央審議会答申「今後の都市公園等の整備と管理は、いかにあるべきか」について、公園緑地, 56(3) 40-52	4) Richard M. Steele (1988): The Vancouver Board of Parks and Recreation THE FIRST 100 YEARS, The Vancouver Board of Parks and Recreation, 280pp	No.1
2) 後藤和夫(1996): 都市公園管理の今後の方向、公園の管理, No.11 38-45	5) Betty Stubbs (1985): From Golf Course to Garden, Vancouver Botanical Gardens Association, 80pp	9) V.B.G.A. (1994): Annual Report No.2
3) 「Vancouver Botanical Gardens Association」は、実態としては「VanDusen Botanical Gardens Association」であり、印刷物によっては後者を用いている場合もあるので、和訳として括弧内に「バンデュッセン植物公園友の会」と表記した。	6) V.B.G.A. (1993): Guide Book	10) V.B.G.A. (1995): Annual Report No.3
	7) Anne Tempelman-Kluit (1990): Green Spaces of Vancouver, Brighouse Press, 208pp	11) The Vancouver Board of Parks and Recreation(1995): Annual Report
	8) V.B.G.A. (1993): Annual Report	12) V.B.G.A.: Bulletin, July, 1991号, June, 1992号, Jun, 1993号, march, 1995号
		13) VanDusen Botanical Garden のリーフレット類
		14) 1 CAN \$ を 80 円として換算した。

Summary : The aim of this paper is to evaluate the park management system of the VanDusen Botanical Garden (22 acre) in Vancouver, Canada. The Park is operated by the Board of Parks and Recreation of the City of Vancouver and the Vancouver Botanical Gardens Association since it opened in 1975. The management system of this Garden is one of great interest in the field of park management.

The analysis in this study focused on the management organization, park operations, recreation programming, volunteer activities and the role of citizen as partners in park management. The results are the follows;

1) The responsibility of both the park management board and the members of the Gardens Association are clearly defined. 2) Vancouver Botanical Gardens Association was founded in 1966 by a group of people who are all interested in garden's, all members are required to pay an annual membership fee to the association. 3) The Gardens Association offers a number of yearly recreation and educational programs like: plant sales, garden shows, garden courses and lectures, plant information service, student education programs, horticulture therapy, garden interpretation and so on. 4) All the services performed by the Gardens Association provides valuable opportunity to the people in and around Vancouver to carry out volunteer work.